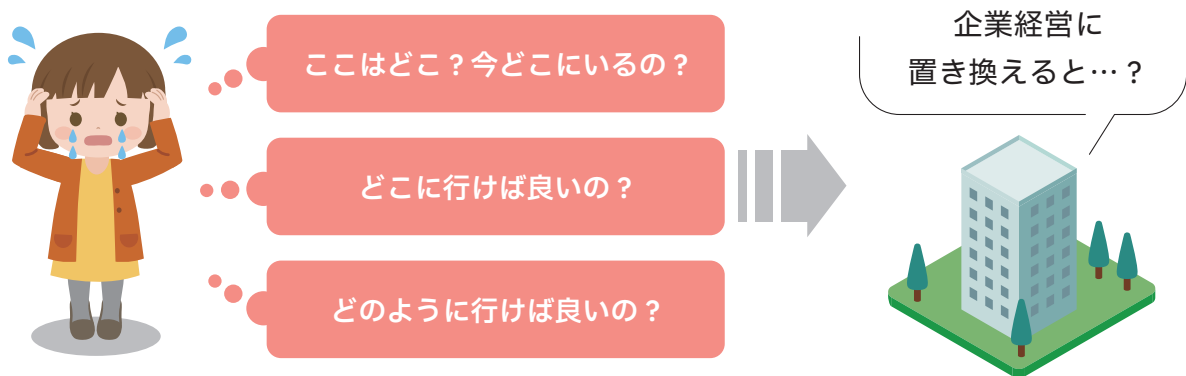


事業再構築や業態転換に取り組むうえでのポイント

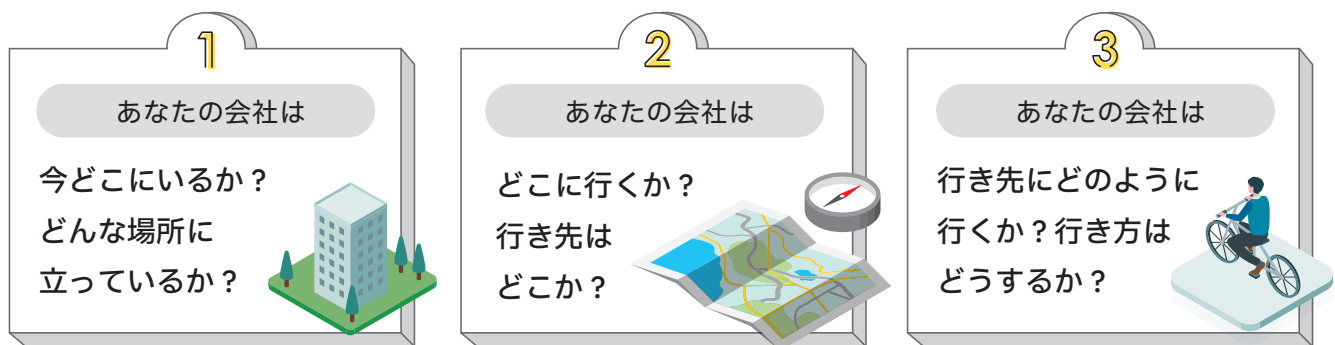
ポイントは、「自社の居場所（今どこにいるか？どんな場所に立っているか?）」と
「行き先（どこに行くか？行き先はどこか?）」と
「行き方（行き先にどのようにいくか？行き方はどうするか?）」の
3つを明らかにすることです。

事業再構築や業態転換に取り組むうえでは、自社を「迷子の三原則」という話に当てはめて考えてみると良いでしょう。

迷子になってしまった子どもはなぜ泣いているのでしょうか？それは「今どこにいるのか分からない（居場所が自分で分からない）」、「ここからどこに行けば良いのか分からない（行き先が自分で分からない）」、「行き先にどのように行けば良いか分からない（行き方が自分で分からない）」からです。



逆に、「居場所」「行き先」「行き方」さえはっきり理解できていれば、迷子にはなりません。企業経営に置き換えると、事業再構築や業態転換を考えるにあたって、



この3つを明らかにすることが、事業再構築や業態転換に取り組むうえでの第一歩であり、取り組むうえでのポイントです。それぞれ3つを検討するうえでの「定石」は別ページにて分かりやすく記載しますので、そちらを参考にしてください。